別紙2

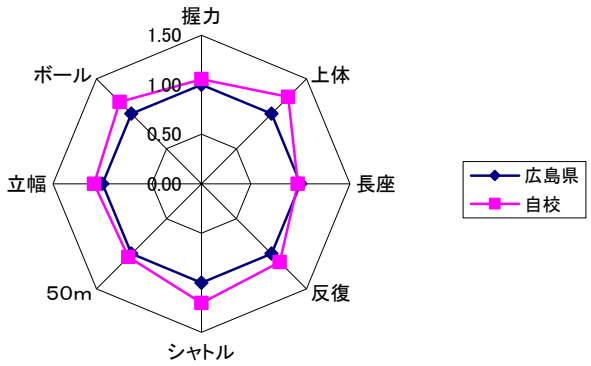
令和4年度後期　児童生徒の体力向上に関する指導方法等改善計画（小学校）

校番　19　呉市立両城小学校

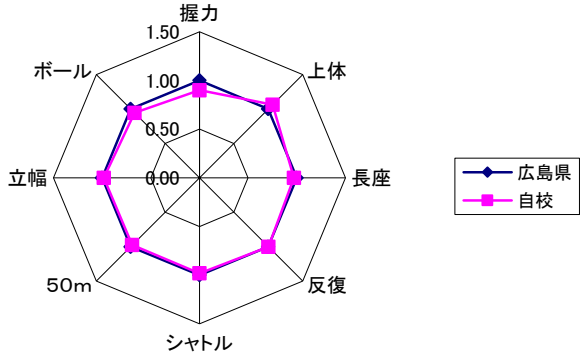
男子の体力合計点　学校　59．86点　県平均　53．82 点

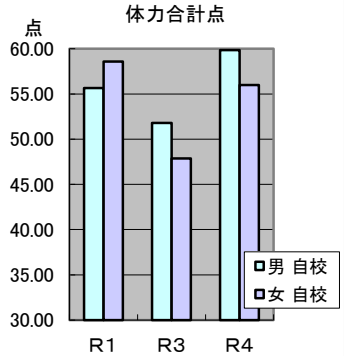
女子の体力合計点　学校　56 点　県平均　55．90点

体力・運動能力調査比較（小5男子）



体力・運動能力調査比較（小5女子）





R4体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析　（全学年の状況も踏まえて記入すること）

①　50m走（呉市の課題種目）

・県平均及び全国平均の記録を上回っている児童の割合が40%であった。

・今年度は第5学年のみの記録比較であるが，他の学年でも外遊びを多くする児童とそうでない児童に大きく差がある。また，走り方の技法について正しい理解と実践ができていない児童も多い。

②立ち幅跳び（中学校区の課題種目）

・県平均及び全国平均の記録を上回っている児童の割合が59．1%であった。第5学年だけでなく，他の学年においても女子の記録の方が平均に達していない児童の割合が高い。授業以外での運動機会が少なく，筋力や瞬発力等の基礎体力が不足している。

・腕振りが正しくできていない，腕を振るタイミングと跳躍のタイミングが合っていない，跳躍時の姿勢が悪い，全体的に筋力が不足しているなど，要因としては様々である。

③長座体前屈（自校の課題種目）

・広島県平均を上回っている児童の割合が45.5%であった。男女別で見ると，男子が42.9%，女子が50%となっている。

・新型コロナウイルス感染症の影響で運動機会が減少していることも影響していると考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 （　50m走　　） 具体的な数値目標 （男子0.5秒，女子0.5秒）	具体的な取組内容 ・大休憩，昼休憩での外遊びの推奨や，各クラスへの鬼遊びの啓発を行う。 ・立った姿勢からだけでなくいろいろな姿勢から素早く走る運動を行う。 ・くれチャレンジマッチスタジアムのダッシュリレーなどにクラスごとで継続的に取り組む。
②中学校区の課題種目 （　立ち幅跳び　） 具体的な数値目標 （男子10cm，女子10cm）	具体的な取組内容（中学校区で1つ以上共通の取組を設定） ・全学年で児童生徒の発達段階や個人の能力を考慮しながら，体育科の授業開始時に瞬発力(筋パワー)を鍛えるジャンプトレーニングを実施する。 ・正しい腕振りの仕方やタイミング，跳躍時のポイントについて，全学年で共通理解を図る。 ・業間の時間を活用し，「なわとびチャレンジ」で，児童の運動量を確保し，筋力・瞬発力を高める。
③自校の課題種目 （長座体前屈） 具体的な数値目標 （男子2cm，女子2cm）	具体的な取組内容 ・体育科の授業前の準備運動や授業後の整理運動等で，体の柔軟性を高める運動を取り入れる。 ・くれチャレンジマッチスタジアムの様々なダッシュリレー等に取り組み，いろいろな動きを取り入れることで，体をほぐし，柔軟性の向上を図る。

※具体的な数値目標（記録の伸びを数値化）